

# もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にいこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

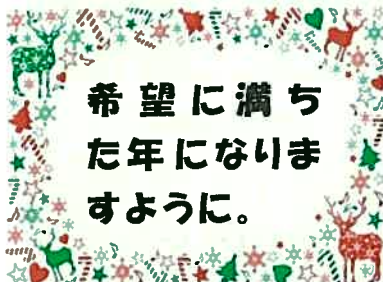
fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

12  
Dec

NO 281 / 2020



希望に満ち  
た年になりま  
すように。

## contents

★コロナと共に歩んだ1年

～写真で振り返る～

..... 2

★例会報告「黄金山見晴らし整備」

: 土谷

..... 3

★11月里山部会報告: 岩田

(中重さんからメール便)

..... 4

★11月クラフト部会報告: 本廣

もりの市: 佐藤

..... 5

★太田川学校間と子ども交流

: 小迫

2020年「TEAM 森づくり」始動

..... 6

★クリスマスマーケットWeb開催

今月のひと枝: ヒメツルソバ

..... 7

★12月・各部の活動予定 他



11月例会『黄金山見晴らし整備』左: 大木シラカシとモミジ。右: 伐倒後の見晴らし。

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆湯来町 林クリニック

《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業: 順不同: 敬称略》

もりメイト倶楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり 健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く 森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森を楽しみ森を味わう 人と森との関わりを拡げます。

森から学び森を伝える 森の恵みを活かし利用する活動。

例 会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)  
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

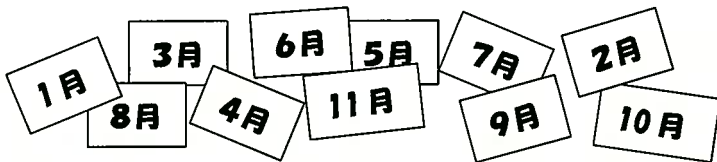
もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



~2020~  
**コロナと共に  
 「歩んだ1年」**



1月



2月



3月

今年はかつて経験した事のない地球規模の大変な年でした。3密を避け工夫し何とか活動出来た事に感謝！！

各号	☆表紙を飾った写真と主な活動他☆
1月	干支のネズミ「もりの手紙」が届くまで
2月	恵下山公園整備・2020 はなのわ紹介
3月	HP 委員会発足。この人:佐藤謙治さん
4月	湯来での集材パート2 薪プロの活躍紹介
5・6月	総会は委任状にて。この人:本廣さん
7月	総会報告 竹炭伝承講習会
8月	狐原山草刈り
9月	松が原例会 もりメイトキッズ開催
10月	神ノ倉山例会。この人:川原さん
11月	スクウスクウの森四阿披露



4月



8月

7月



10月



9月



1月



11月





## 大木シラカシ伐倒！頂上見晴らし良好。地元から激励 感謝！

我が倶楽部には、黄金山について、平成 20 年から楠那町側の山桜の環境整備、山頂地区のソメイヨシノの樹勢回復や景観整備を目的に様々な地域貢献活動をしてきた長い歴史があります。こうした経緯から、今回の例会は、地元の社協、自治会長、議員などから構成される『黄金山！山頂エリア活性化推進協議会』との協働により、倶楽部員 25 名、大学生ボランティア 2 名、地元企業から 1 名、地元住民 18 名、行政関係者（南区役所建設部地域整備課）8 名、計 53 名もの皆さんが集まりました。

いつも通り、早朝から担当 3 班を中心に受付、機材の準備等を終えて 9 時に開会し、理事長から黄金山整備の経緯の説明、南区役所の建設部長さんからご挨拶いただき、来年度以降も継続して関わって欲しい旨のご要望がありました。全員でのラジオ体操後、駐車場西側法面の A 班、北スロープ中腹左の C 班、トイレ東側法面の E 班の 3 グループに分かれて、ミーティングをして作業に入りました。主な作業は、桜などを残しつつ、常緑樹やモミジの伐採、クズの伐根などです。私は、E 班でしたが、かなりの急斜面で藪の中でしたので、午前中は、まず、藪の伐採をして、大きなモミジの伐倒を塚本さんが中心となり、午後からの大径木のシラカシ伐倒に向けて、周囲の竹藪の伐採などを無事に終わりました。塚本さんは、新品のマイ電動チェーンソーを持参されたのですが、電動の場合、通常よりは、回転振動音が静かだったのが印象に残りました。

その後、お楽しみのランチタイムは、地元の皆さんが、おいしいホルモンのもつ肉が入った汁ものやカレー、飲み物をふるまって下さいました。いつもは山林での作業なので、イスに座って食べれることは少ないのですが、今回は、何と行政の皆さんを中心にテーブルやイスを大量に山頂に運搬され設営されたので、倶楽部員は担当班ごとに座ってゆっくり会食を楽しむことができました。関係者の皆様に感謝・感謝です。

午後は、いよいよ、直径約 65 センチという大木シラカシの伐倒ということで、万一、急斜面の直下方向に倒木してはいけないので、チルホルのセットから始まりました。できるだけ高い位置にワイヤーをかける必要があります。支障木がある中、何とかセットしたところ、二つのワイヤーのつなぎ目がはずれるアクシデントもあり、2 回目のセットが完了したのが、14 時過ぎになってしまいました。場所は、山頂駐車場の仁保方面を見下ろす斜面のすぐ下で、倶楽部員以外の皆さんも伐倒作業をじっくり見渡せる位置でしたので、衆人注目の中で、中心伐倒者の本廣さんはさぞかし緊張されたことと思います。慎重に受け口、追い口を作って無事伐倒。大学生を筆頭に巨木の伐倒シーンを目前で初めて見学された皆さんは、さぞかし感動されたことと思います。この E 班以外のグループは、おおむね予定時間に無事目標どりの作業を終え、道具の手入れを済ませ、反省会を実施して終了しました。

なお、今回は、地元在住の見勢井顧問を筆頭に鎌田さんなど数名の会員が自主的に何度も現地地下見・調査に行かれ、入念に活動計画を練り、樹木にピンクテープを貼るなどの準備をされました。これは、当日の活動がより安全、かつ、円滑に進められるよう真剣に取り組む姿勢による賜物であり、改めて感謝申し上げます。

後日、倶楽部の有志により 2 日に渡り、大木シラカシは、玉切りし処理を終えました。ありがとうございました。



見晴らし整備は 50 人を超えた大イベントに！



足場の悪い藪の中でツル切り大奮闘の北田正子さん



ゆったり味わった山頂駐車場で昼食。



黄金山一の大木 シラカシの伐採(東側法面)。



# 里山部会

11月8日(日) in スクウスクウの森

部会長：岩田幸信



先日まで暑い暑いと思っていましたが、朝晩の冷え込みが急に厳しくなり、紅葉は見れないのかと思いきや、ようやく紅葉が進みだした11月8日、妙國寺裏山のスクウスクウの森で里山部会が開催されました。参加者は倶楽部員14名・スクウスクウの森活用実行委員会の中重さんとで15名でした。

7月12日からスクウスクウの森での<sup>あずまや</sup>四阿の建設に携わり、5回目(例会含む)でようやく完成、また、例会で伐倒した枯れ松の処理(チップパーも使用)も同時に行いました。残すところは土間の整備(手作業)・椅子の設置・看板設置のみとなりました(来年予定)。<sup>あずまや</sup>四阿の建設について、振り返ると、設計図面のみしかなく、部材リ

スト等も無い中でよく完成したと思います。妙國寺の住職・スクウスクウの森活用実行委員会の中重さん・<sup>あずまや</sup>四阿の建設に協力していただいた全ての皆さんありがとうございました、この経験を活かして2号館の建設の噂がちらほら有るとか無いとか？スクウスクウの森の近くを通られたら是非とも見に来てください。

来月の里山部会は、12月13日に中三田の小川フィールドでの開催となります。雑木の運搬整理・依頼があった柿の木の伐採を行いますのでご参加ください。(当日は、納会も兼ねて行いたいと思います。)



山下さん チッパー持参で枝処理

## ～～《追記：岩田部会長》～～

～今回の妙國寺の<sup>あずまや</sup>四阿の完成おめでとうございます。皆様のご尽力に感謝申し上げます。～



<sup>あずまや</sup>四阿棟上げ時。竹原、佐藤、明野さん

4月12日(日)里山部会終了後、妙國寺での打ち合わせから始まり、7月10日(金)の事前の現地打ち合わせ。7月12日(日)から始まり9月22日(火・祝)、10月11日(日)、10月25日(日)例会、11月8日(日)と沢山の方々に支えられて、何とか完成することが出来ました、ありがとうございました。今回、山本理事長より調整役を仰せつかり、無事に怪我・事故もなく、終えたことにも感謝申し上げます。また、昔から仕事では「何事も段取り8割」と教えられてきましたが、そのことが実証された良い例でした。本日の終礼の時、正面の看板設置・椅子の設置等々のアイデアが、出ましたので、これからもお付き合いのほどよろしくお願いします。

### ～森活用実行委員会の中重さんからメールが届きました～

『もりメイト倶楽部 Hiroshima のご尽力いただいた皆様。スクウスクウの森活用実行委員会の中重です。この度は、皆様の精力的で献身的な活動に深く感動を覚えました。誠にありがとうございます。特に岩田様や竹原様、川原様、佐藤様、そして毎回献身的に柱廻りのコンクリート打設や型枠作り、単管パイプでの支保工、足場づくり、小屋組など見事なまでの周到な準備とチームワークでお支えくださったすべての皆さんに感謝です。私も微力ではありますが、今後さらにもりメイトの皆さんとの交流事業が発展するよう活動してまいる所存です。よろしくお願いたします。』







銀杏の散歩道が黄色い絨毯に変わり、山も晩秋色となりました。今月は出店準備、材料作りとクラフト部会も盛況でした。

11月3日(日) 広島市森林公園で「ひろしま森の市」が開催されました。もりメイト倶楽部も木工クラフトに参加し、箱庭、木絵、干支の牛、ピエロ、アートな車、半割イス、花車を準備し指導を行いました。前日までコロナ対策の体温計や消毒アルコール、フェイスシールドを準備したり机の配置が重ならないよう工夫したりとイベント当日を迎えるまでの準備が一番大変でした。(当日の詳しい報告は、佐藤さんが担当) 一般参加者 155人、会員参加者 15人。

11月8日(日) 安佐北区白木町秋山、妙国寺裏スクスクの森で己斐上学区子ども会育成協議会と学校間交流事業

「森づくりを体験しよう！」が開催されました。森の重要な役割と森、川、海及び人との関わり等について学習。林業体験(間伐)。木工クラフト工作体験をしました。一般参加者 児童 24人、会員参加者 7人。今月の一般参加者 179人、会員参加者 22人。



## 『森の市』開催

11月3日(日) in 広島市森林公園

今年の「森の市」はコロナ禍各種イベント自粛の中、森の大切さをアピールする「秋のグリーンフェア」に続くイベントでした。

クラフト部会としてこの1年、森の活用企画・部材の加工・森を活用する手法など、メンバーが毎週土曜日に集い準備してきました。参加される市民の皆様の楽しく創作される顔を思い浮かべてきた森の市開催。



子供たちには、箱庭、木絵が人気

倶楽部スタッフメンバー15人はウキウキと集い会場準備し開催の時間を待ちました。

9:00開催と同時に男の子の「トラック」よりスタート。最初は天候も関係してかぼちぼちの参加者でしたが、昼食が済んだぐらいより秋晴れとなり参加者も増え、箱庭、木絵、半割椅子が多くスタッフもてんでこ舞い、《距離・消毒確保》となる状況でした。お父さんお母さんは半割椅子・子供たちは箱庭、木絵が人気で、参加者は昨年129人、今年は155人でした。スタッフとして参加し、孫ぐらいの年齢の子供達への指導(先生気分)というか、小学校の先生の大変さと楽しさを感じました。もりメイトの活動一つである『森に

親しみ森の恵みを活用し創造の楽しみ』を体感でき、この楽しさを多くの倶楽部員にも体感して頂きたく思いました。秋の夕方は日暮れも早く、ひんやりする夕日の中、今日一日の温かい思い出を胸に帰途につきました。



盛況! 3密に配慮しつつ森の大切さをアピール

## 「森の守り手ワークショップ&セミナー」ご案内

●日時：12月19日(土) 10時00分～15時30分 ●場所：広島国際会議場 大会議室ダリア(平和記念公園内)

【第1部】森の守り手ワークショップ(ファシリテーター：和田秀次氏)

前半 10:00～12:00 後半 13:00～14:00

【第2部】森の守り手セミナー 14:15～15:30

講師：黒田慶子氏(神戸大学大学院農学研究所)

●申し込み：もりメイト倶楽部事務局(電話かメールにて)お早めに!!

●主催：広島県(ひろしまの森林づくりフォーラム事務局)

コロナの関係上、人数制限があります。第1部は各団体から2名、第2部は希望者の参加を募りま



# 【太田川学校間と子ども交流事業】

「教える事は学ぶ事！」 講師として初参加

5班 小迫富男

- ・ 10月9日(金) 安芸高田市向原小学校5年生21名：安芸高田市「鷹巣山」
- ・ 10月21日(水) 広島市立山田小学校3年生23名：白木町「スクスクウの森」
- ・ 11月8日(日) 広島市西区己斐上学区子ども会育成協議会35名：白木町「スクスクウの森」



人工林で林業体験



木の伐り方を教わる

講師として初めて参加させて頂きました。向原小学校では、この活動で毎年生徒達が森の役割について発表していたのですが、今年はコロナの影響で勉強時間が不足した為、発表が出来ないとの事で急遽指導員4名が地元に関係の深い動植物のテーマを1個ずつ与えられ発表をしました。一夜漬けの知識での発表でし



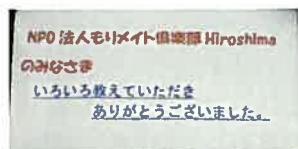
森の大切さに耳を澄ませる子ども達

たが、皆熱心に聞いてくれ又自分自身も大変勉強になりました。そしてこの日はRCC中国放送のテレビクルーが今年の「TEAM 森づくり 2020」の広報の取材に来ていて、賑やかな学習会となりました。ちなみに10月20日のイマナマの番組の中で当日の活動内容が放送されました。午前中は主に伐木体験を実施し、健全な森林を保持する為の間伐の必要性、安全に木を倒す方法を指導しながら無事事故も無く伐倒しました。昼は保垣照山会がご用意くださった、豚汁をいただき昼からの鋭気を養いました。



森林体験の後でパチリ「己斐上子ども会」

午後からは、伐木した木を材料に各自思い思いの作品を作り、本日の思い出作りとして貰いました。最後に山本理事長から、「沢山の恵みを与えてくれる森にもっと関心を持ち、自分にも出来る、環境を守るということを少しでもやって行きたい。」と、生徒への願いが伝えられ、定時に解散となりました。山田小学校と己斐上子供会についても学年は様々ですが、内容はほぼ



向原小学校5年生より



ヒノキの木エクラフト

向原小学校からのお礼の冊子が届きました

同じ。いずれも子供達にとって伐木の体験は大きなインパクトを与えた様子で、その事がより一層自然に深く関わるきっかけになればと思いました。私自身経験、知識共に十分ではありませんが、教える事は学ぶ事でもあるという事を教えてもらった3日間でした。

「太田川流域交流振興会 議」主催による太田川学校間と子ども交流事業は、2003年から太田川流域の次世代を担う子ども達を対象に環境学習を実施しています。当倶楽部は「森林環境教育プログラム」の企画を提供し、希望の学校や子ども会を募り、毎年数団体の受け入れを行っています。現在まで18年間、約3,000人の児童を含む関係者の多くの方々に関わっていただいています。

## 〜2020年TEAM 森づくり 今年もプロデュース!〜

「TEAM 森づくり」が始まりました。今年は3回目を迎えます。このイベントは広島県が主催し、目的は「森林と関わりのない県民」に森への理解を深め、森林整備を通じて森づくりの大切さを伝える事。今回は4回シリーズで活動し、講師は倶楽部のメンバーが担当します。1月号での報告をご期待ください。





今年は Web 開催



毎年 12 月に出展協力をしてきた「ひろしまドイツクリスマスマーケット」は今年はコロナ禍により WEB のみで開催をすることになりました。※残念ながら現地での開催はありません。HP からのメッセージをお伝えします。

『ひろしまドイツクリスマスマーケット』はドイツ西洋文化とのふれあい、交流を通して、広島市内のまちの活性化や良好なまちづくりに寄与し、広島市民を中心として県外、海外広くどなたでも参加できるイベントにすることによって、平和都市ひろしまにふさわしい新しい冬の風物詩を創造することを目的と致します。

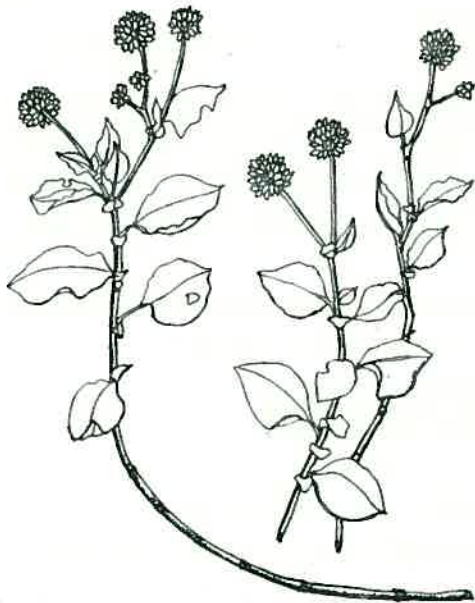
ここに 5 年続いた「ひろしまドイツクリスマスマーケット」を 2020 年はやむを得ず新型コロナウィルス感染拡大のために中止しました。しかし、このたび、その灯を消さないために特設ホームページを立ち上げ、新しいスタイルで開催しました。』

【 <https://www.hiroshima-christmasmarket.jp/> 】



今年ひと枝

原田 澄



### ヒメツルソバ (姫蔓蕎麦)

<タデ科・イヌタデ属>

ツル性の多年草。ヒマラヤ原産の帰化植物。溝や畑、道路や空き地、石垣の隙間などに生え、日本にはロックガーデン用として明治時代に導入され野生化している。花は、初夏から晩秋にかけて 1 芽ほどのピンクの花が丸い球状になって咲く。茎は立ち上がり横に這うように広がり根を下ろす。性質が丈夫であるためグラウンドカバーとして用いられる。名は、花や葉がツルソバ(蔓蕎麦)に似ている事から。・・・▼ピンクのツブツブの花が集まり、まるで薄桃色の金平糖きんぺいとうのようなヒメツルソバ。通りすがりの家のブロックの隙間から次々と花をのぞかせていた。在来種より繁殖の勢いが勝る外来種の帰化植物はあまり繁茂して欲しくはないが、何とも可愛らしい。▼今年は当たり前のことが許されない大変な年であった。しかし、今年の紅葉は美しかった。透き通るように赤く染まったモミジ。近くのアカシデやイチヨウの朱色や黄色も見事だった。▼晩秋を迎え、落葉樹の樹々たちはいつも通り、翌年の準備のために葉を落としていく。自然界の目に映る大いなるやさしさと当たり前の姿に心こころ和む思い。迎える 2021 年はどうか希望に満ちた年となりますように。 ~佐伯区五日市 2020・11月~





## -12月- 活動の予定

下記のイベント参加と材料作りが主な作業となります。

■12月13日(日) どんぐり塾木工クラフト【呉市】

■12月26日(土) 児童デイサービス【ゆうゆう】  
木工クラフト【広島市中区】

～皆様の参加お待ちしております～

■12月11日(金) 軽トラタイヤ交換、材料作り  
19日(土)・大掃除 【安佐南区山本町鹿ヶ谷】  
《リョウブ伐採運搬と製材は日時未定です》

■連絡先 本廣 090-4141-8603

クラフト  
部会

■日時：12月13日(日) 9時～

■場所：「小川フィールド」

安佐北区白木町中三田地区

■作業：雑木の運搬整理・依頼があった  
柿の木の伐採等。納会。

■持参品：水筒・弁当・山の道具

お弁当は小ぶりをお願いします。

■連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

環研  
部会

■日時：12月7日(月) 18時30分～

■場所：広島市まちづくり交流プラザ3階

テーマは来年度「もりメイトキッズ」について。

環境教育に関心のある方は、どなたでも気軽に  
ご参加下さい。Welcome!



おしらせ

～メール会員募集中～

引き続き募集しています。

なお、会報が届かなかった時は  
事務局までショートメールか電  
話にてご連絡下さい。

事務局：090-6419-7531

= 雲月山(北広島町)お鉢巡り =

・冬枯れの草原トレッキングを楽しみませんか?・

☆日時：12月15日(火) 13:30～15:30

☆案内人：白川勝信学芸員(高原の自然館)

☆集合：「雲月山」下の駐車場

☆参加費：無料

☆申し込み：080-6334-8601

✉ [staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)

主催：西中国山地自然史研究会



1月号の会報発送作業は  
下記の通り、実施します。

■日時：1月6日(水)

18:00～20:00

■場所：市民交流プラザ3F

(袋町小学校隣り)



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

### 会員の種類

【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》